

7/22(日)は、サマーフェスタです!



11回目迎える千鳥福祉会サマーフェスタ2012。今年も東日本大震災復興支援を目指し実施します。「地域とともに」をテーマに、昨年は10周年。多くの方々に支えられ11年目、新たな一歩を歩むことができました。祭りの基本は来場者が「楽しい!」と思うこと。

そして関わる人達が皆様の「楽しい」を感じ、エネルギーにし祭りを楽しむこと。この二つから千鳥福祉会の祭りは確立されています。 祭りを楽しむ人、祭りを仕込む人。その総数は毎年約3,000人。

「絆」が生まれています。全ての人が主役のお祭り、今年も盛りあがりましょう!お気軽にご参加ください。

平成23年度苦情受付・ 解決への取り組み報告

下記内容にて、申し出を受け、解決に向け、 取り組みや話し合いを行いました。継続し て取り組んでいるケースもありますが、今 後も真摯に対応していきたいと考えます ので、お気兼ねなくお申し付けください。

★共同生活介護・援助事業

持田寮管理者 江指裕嗣

・不要になった住宅用火災報知機の返還について(大家様から)

★ケアセンター大空

・支援時のコインロッカー使用料取り忘れと連絡不足について (ご家族から)

★ういんぐ

- ・通所利用者の送迎バス待合時の不適切行動について(利用者 宅近隣住人)
- ・エアコン室外機の騒音低減のための、設置場所の変更についての要望(近隣住人)

★持田寮

- ・他利用者からの他傷行為による受傷について(ご家族から)
- ・施設における医療的ケアについての問い合わせ(ご家族から)



自分の存在を 確認することで、 他の人との 共存が見えてくる。

理事長 山本昌子

今、私たちはいろいろな情報が飛び交う中で、その情報を整理し きれない不安でいっぱいです。これまでなんだかんだとあっても、政 治も経済も何らかのコントロール機能があって何とかなってきました。 でも、明日はそうはいかないかもしれない。

先日、研修会で聞いた話ですが、心に残っている言葉を拾い集めてみます。「日本の政治は地方が決定権を持つ時代になる。」「経済的には鉄の時代が終わり、日本が得意とするナノテクノロジーの時代が来る。微生物が素材革命をもたらす。」「情報も光の速度を超えて伝わってくる。」「日本人は健康で持続可能なライフスタイルを求め、文化を創造し、大きな宇宙観をもって臨んでいる。日本という国は、何でも受け入れ、日本流にアレンジしてきた国籍のない国と言ってもいい。そこには、物ではない『精神の共同体』が培われた。その精神の共同体の中心には『世のため人のため』がある。」「日本人はどんなに困難でもそこで団結する。」・・本当でしょうか・・・贔屓目に見てはいないでしょうか・・・。

ただ、ここまで生きてきた自分を振り返ってみても、周りの方々を見ても「世のため人のため」という言葉には弱いように思います。そこをないがしろにする時は、悩んだり自己嫌悪に陥ったりするように思います。次々状況が変化し、先が見えない中で私たちの指標になるかもしれません。

千鳥福祉会と利用契約を頂いている方が200名を超えました。我々役職員一同、微力ながら精いっぱい努力を重ねたいと思います。 今年度もよろしくお願い致します。 Leaving Care News



〒690-0814 松江市東持田町1415 社会福祉法人 千鳥福祉会

障害者支援施設 持田寮 就労移行支援事業所 ワークセンターフレンド

成労移行支援事業所 リークセンターノレン 多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ

同生活援助・介護事業所

URL http://www.9.ocn.ne.jp/~chidori/ E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

「相談支援事業所ひまわりです」

相談文援等門具 竹内淳子

今年度は、ケアセンター大空から独立し、センターひまわりで松江市の委託を受けた相談事業と24時間サポート事業をしています。

そして、この4月からは、相談を受けるだけでなく、サービス計画作成も進めることになりました。全てのサービス利用をしている方に即計画書を作成する事は困難であり、その優先順位が設けられています。

- ①新規にサービスを利用したい方
- ②障がい者支援施設から退所した方
- ③単身世帯又はそれに準ずる世帯に属する方でサービスを利用したい方
- ④施設入所をしている方

Consultation

- ⑤訪問系サービスの更新·変更申請をしたい方
- ⑥日中活動系サービスの更新・変更申請をしたい方
- ⑦上記以外の訪問系サービス利用者
- ⑧上記以外の日中活動系サービス利用者 今後3年以内に、全利用者のサービス計画が作成されることとなりました。

サービスの種類も様々で、療養介護、生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援等の日中活動、グループホーム、ケアホーム、居宅介護等サービス等があります。その違いも説明しながら、また、利用する事業所も含めてご本人が選べる事になっています。サービス計画作成に当たっては、まずは、御本人の御希望を大切にしながら、地域生活を送る為に必要なサービスを組み合わせ、それにかかわる支援チームや地域資源の組み合わせも考え、安心した地域生活を可能にする事を大切にします。そして、その計画をもとに、関係者会議を開催し、サービスの調整を行います。

併せて登録を原則としている24時間サポート登録者は現在60名を超しました。もしもの時に、誰に連絡するか決まっているのは安心なものです、緊急時にならないに越した事は有りませんが、先を見越して少し段取りをするだけで、慌てないで済むと言う特典が付いてきます、将来に向けて支援者は多い方が良いでしょうし、今から出来る取り組み(例えば宿泊トレーニングとか)もあるはずです

センターひまわりでは、このような仕事と相談全般をしていますので、皆様お気軽にお寄りください

business

「あなただけの生き方を 支援し続けます」

共同生活事業所管理者 遠所三津江

これは千鳥福祉会の基本理念です。なんと単純な言葉でしょうか。しかし裏腹に、実践はなんと難しいことでしょう。

私たち、共同生活(ホーム)事業所の使命は、障がいがあっても個人の意思が尊重され夢や希望が持てるよう、また、生活の拠点を地域社会の中に置き、たとえ、障がいや病気が重くなってもできるだけ、施設に戻らず慣れ親しんだ今の地域生活が続けられるよう支援をすることだと考えています。

しかし、実際に地域生活を維持するにはたくさんのリスクを抱えます。日々の通勤にバイクを使いたいという希望がある場合、つい利便性より事故を恐れてしまいます。また、疾病が進行しないようにと、食事やおやつにおいてご本人の自由な選択よりカロリー制限を重視した声掛けをします。異性との交際に関してもなかなか

大らかに対処することができません。

理念に沿った「個別のサービス」を、という思いに反して現実には希望にかなった対応がそう簡単にはできないという葛藤に悩んでいます。当然、一つの事業所の取り組みだけでは困難であり、保護者様のご理解はもとより、地域の方々、医療機関など取り巻く社会全体が同時に意識改革を図り連携して行く必要がありますが、昨今は少しずつその歩みも進んできつつあるように思います。

利用者様の健康を気遣い、清潔で安全な暮らしを守り、尚且つ地域で当たり前の生活ができるよう、そしていつまでもその生活が続けられるよう、千鳥福祉会を利用してくださっている利用者様とのご縁はいつまでも大切にして行きたいと思っています。

今後とも末永くよろしくお願い致します。



平成24年度が始まり2ヶ月が瞬く間に過ぎたように感じているところ です。ワークセンターフレンドは、平成20年4月から就労移行支援事業所 としてスタートし、企業実習、就労支援活動、等、利用者の方のニーズ、願 いに応えるように支援してきました。

平成23年度は、4名の方が就労が決まり、今年度は2名の方が就労さ れ、年々、就労関連機関との連携も深まってきており就労実績が上がって きましたが、定員20名の方全員が利用期間内で就労される事は、難しく、 経済事情に左右される不安定さ、利用される方のニーズ、願いが変わって きた事を考え、平成24年6月1日より、就労移行支援事業と就労継続支 援B型事業との多機能型事業所として新たにスタートしました。

多機能型としてまだまだ課題が山積み状態でありますが、法人の理念、フレ ンドの方針に沿って職員一体となって課題を克服していきたいと思います。



24年度がスタートして早くも3カ月が経とうとしています。

持田寮各事業でも新しい利用者さんや職員が加わり、緊張の中にも和 気あいあいとした日常が送れるようになりつつあります。

花見遠足や千鳥福祉会運動会もありました。個々に「奇麗だった一」「雨 で残念だった一」「楽しかった一」「悔しかった一」等、それぞれに感想を言 って下さる表情や姿を見ると、もっとみなさんの笑顔が見たいという気持 ちが湧き上がります。

でも、楽しい事ばかりではありません。利用者さんの受傷があり、本人 さん・御家族を始め周囲の方につらい気持ちを与えてしまった事がありま した。メンタル面の支援や事故再発防止に努める毎日ではありますが、改 めて支援の大変さを痛感いたしました。

新しいスタッフも数名加わりました。これまでいた職員も一緒に新規な気 持ちに戻り、更に笑顔あふれる持田寮になるよう努めていきたいと思います。

ケアセンター大空

ケアセンター大空が事業を開始してから10年目を迎えました。居宅介 護等事業所として地域で生活する在宅障がい者の方々の支援を行ってい

今年相談支援事業が特定事業となったことから、竹内管理者が 相 談支援事業所ひまわりの相談支援専門員して異動しました。そこで、代わ って私が管理者として就任致しました。どうか宜しくお願い致します。

現代は在宅福祉、地域福祉の時代です。家族の強い絆に支えられ、日常 生活をしていく上で、支障となるハンディキャプを少しでも軽減し、その人 のニーズに合った支援を通して喜びや寂しさや不安を共感し和らげ、少し でも心の支えになれるようにと思っています。

現在は、児童、知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者の方たちの 支援を40名の介護スタッフで支援しています。

いつまでもその人がその人らしく、生き生きとして、安心して暮らせる よう、また自己実現を可能にします。そして、笑顔と感謝に報いれるよう、 精一杯努力致します。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

こういんぐ

神田弘治





L.C.C.ういんぐは、独立してから10年目を迎えます。長いようで早かっ たこの10年の間に、数多くの利用者の方に来て頂ける事業所となり、現 在では約60名程度の方が毎日通ってきてくださっております。

そういった中で、利用者の方一人ひとりの安心・安全・満足につなげる事 業展開を目指し続けているところではございますが、課題も山積している 現状です。今年度はこの10年行ってきた事業展開や現状と課題、利用者 の方のニーズを踏まえ再分析し、事業内容·活動メニューを整理する一年 間とし、次年度へのステップとなるよう進めていきたいと考えております。



主任 長野雅子

ました。

今まで、障がい者支援施設持田

寮で行っていた学齢児の日中一時支援事業を『ぱすてる』が引き継いで 行う事となりました。

松江橋北地区の養護学校や特別支援学級へ通われている児童の方を 対象に、放課後や土曜日、長期休暇の支援を行っています。

サービスの内容としては、基本的な生活習慣(挨拶・片づけなど)の練習 から、少人数でのワーク(ルールのある遊び・クッキングなど)、個別活動 (宿題・卒業に向けた作業訓練)などを行っており、そのほかご家族の希望 に応じた支援を取り入れています。またご希望に応じて送迎サービスもし ています。

スタッフも新メンバーが加わり、保育士·介護福祉士とそれぞれの得意 分野を活かし皆さんのご利用をお待ちしております。

毎日が笑顔と笑い声であふれ、そして日々成長していかれる児童さんの 新たな発見がありスタッフが一番楽しんでいるのかもしれません。 いつでも見学に来てください。

6月3日(日)絶好の運動会日和の中、今年も平成ニュータウンの公園をお借りして総勢220名で 千鳥福祉会運動会を開催する事が出来ました。お忙しい中御参加頂きました御家族の皆さまに また、ボランテアをして頂きました島根大学の学生の皆様に心からお礼を申しあげます。皆さん と一緒に力を出し切る感動を味わった一日でした。また、平成ニュータウン子供会の皆さまよう こそご参加くださいました。ありがとうございました。また来年もきっと来てくださいね。









白組リーダー/寺本絵理香

今回、運動会実行委員と白組のリーダーをさせて頂き、感じた事は、 普段共同生活の職員は勤務のほとんどがホームで、他の事業所の 職員と接する機会があまりないので、運動会会議や、準備等で意見 を交換したり、協力して作業を行う事がとても新鮮でチームワーク も高まったと思います。

また、運動会では利用者さんの喜んだり、悔しがったり、一生懸命走 る姿、同じ色の仲間を必死で応援する姿等、ホームにおられる時と はまた違ったいきいきとした姿を見ることが出来ました。

最初は自分がうまく白組のチームリーダーとして務めることが出来 るか不安だらけでしたが、皆さんの協力もあり、無事皆さんが楽しめ る運動会になったことに嬉しく思いました。

青組リーダー/人見恵-

晴れ渡る爽やかな青空の下、どうした事か今回青組は1位になっ た種目がひとつも無く、「やったー、今の青が一番でしょ?」という声 が上がった時も、実は2着だったりと、現実は厳しいものでした。

しかし、他の組に大きく点差をつけられ気分的にも落ち込みがち だった頃に、「応援で青組を盛り上げましょう!」という呼びかけに対 し、利用者さん達が前に並んで元気よく応援して下さったり、保護者 の皆さんも一緒に大きな声で声援を送って頂き、皆さんの協力にと ても感謝の気持ちでいっぱいでした。選手の皆さんも、精一杯がん ばられ、私としてはとても想い出深い運動会となりました。

ボランティアの方々も暑い中とても良く動いておられましたし、今回 ご参加いただいた皆様全ての方のご協力に、心から感謝いたします。











赤組リーダー/寺本英男

当日は、天気にも恵まれましたね。私は、ここ数年運動会の参加か ら遠ざかっており、久しぶりの参加となりました。今年は、実行委員と なり、役割分担や企画の流れなど一員と考えました。委員会は、初め ての事で戸惑いながらでしたが、上司の方からの助言を頂きながら 行え、良い体験の機会となりました。

チームリーダーは、2回目でしたが、やはり緊張してしまい、競技分 担などついつい遅れをきたすこともありました。いざ、競技が始まる と利用者のみなさん楽しそうに取り組んでおられ、新しい2種目もよ かったと思います。チームも終わってみると白組と同着の1位。最後 は、じゃんけんで順位が決まりましたが、同着はあまり記憶にありま せん。保護者や職員の協力もあり無事に終わる事が出来ました。

黄組リーダー/田中秀人

運動会に参加をさせて頂いて二年目の年。始めてチームリーダ ーをさせて頂きました。私は黄組のチームリーダーをさせて頂き、 個人的に黄色が好きだったので、勝手に運命的なものを感じていま した。実際にチームリーダーとしての仕事は、右も左も分からず、競 技の采配等を諸先輩方に教えて頂きながらなんとか行う事が出来 ました。

当日の運動会では色々と変更が有り、皆様に助けて頂きながら無事 運動会を終える事が出来ました。結果としては、3位ではありましたが、 来年の運動会では今年の経験を生かし、1位を目指して!?頑張りた いと思います!!貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。



